

第4章 滝遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12 m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250 m、東西500 m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡（1981年の変更増補で滝遺跡と合併）で古墳時代前期と後期の住居跡を検

出以来35ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査（1）は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡1・2・5～7・14・17地点とする。

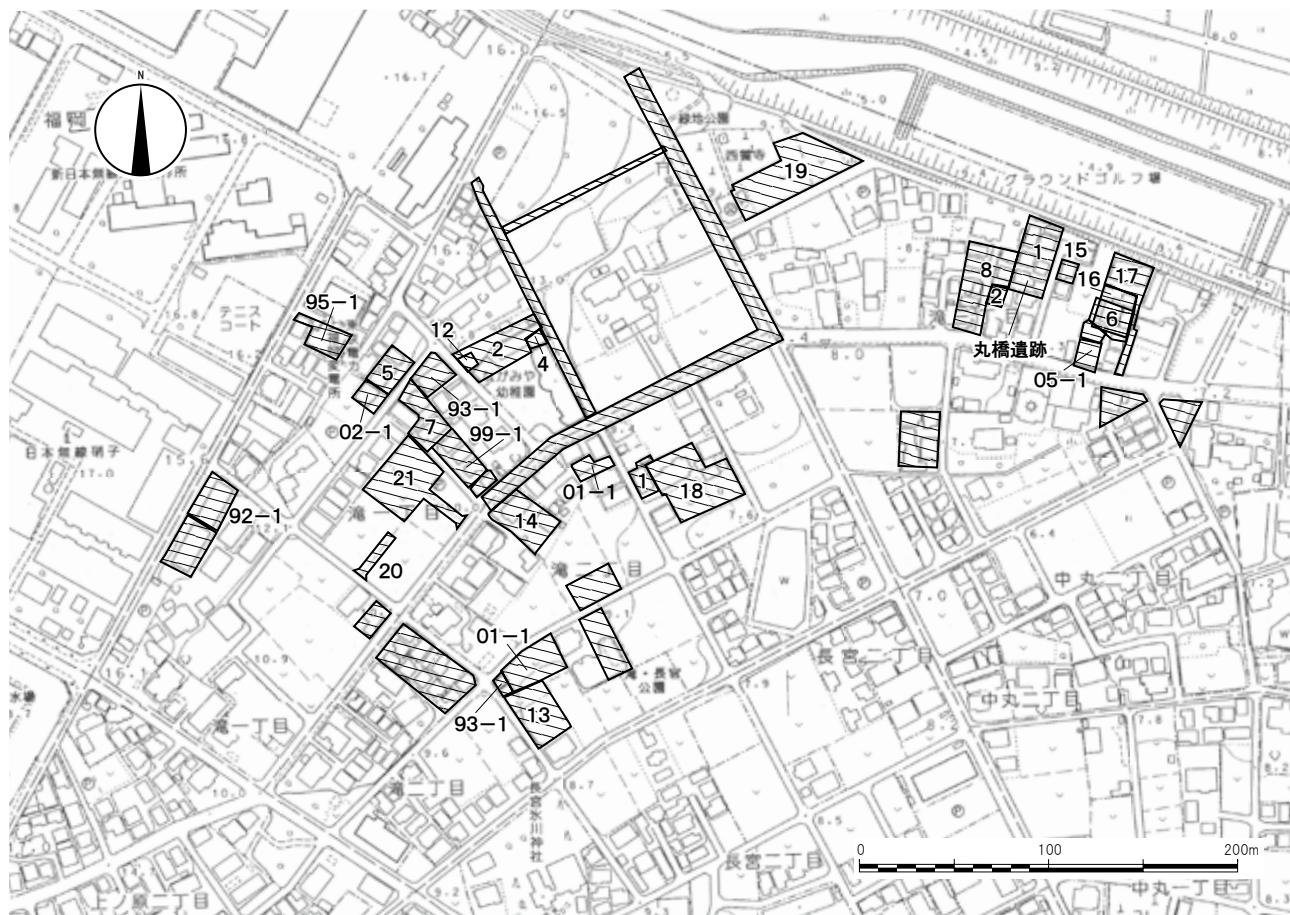
遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構（集石を伴う）である。

II 滝遺跡第17地点

（1）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より「埋蔵文化財事前協議書」が2010年4月15日付けでふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため、原因者と協議の結果、遺構などの存在を確認するための試掘調査を実施した。

試掘調査は2010年5月6日から31日までと6月17日・18日に行った。幅約1～3 mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を



第15図 滝遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第13表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋 1 次	滝 3-3-77 ~ 81	(1976.6.26 ~ 27) 1976.7.24 ~ 8.12	543	建売住宅	古墳前期住居 1・後期住居 1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋 2 次	滝 3-3-13	1978.7.26 ~ 8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑 1、現代溝 1	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)	
1 次	滝 2-6-11	1978.10.2 ~ 13	129	住宅建設	住居跡 1、土師器	埋蔵文化財の調査 (Ⅰ)	
2 次	滝 1-4-2	1979.4.15 ~ 5.7	278	幼稚園プール	住居跡 5、周溝、土坑、長甕、土器	埋蔵文化財の調査 (Ⅱ)	
3 次	滝 1-4-15	1980.6.27 ~ 7.3	76	住宅建設	権現山遺跡 1 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4 次	滝 1-4-15	1980.7.7 ~ 12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)	
5 次	滝 1-3-21	1980.7.20 ~ 31	330	住宅建設	権現山遺跡 2 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6 次	滝 3-3-6	1980.11.20 ~ 12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡 2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査 (Ⅲ)	
7 次	滝 1-1-19	1981.7.30 ~ 31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査 (Ⅳ)	
8 次	滝 3-3-15 他	1983.11.14 ~ 26	990	住宅建設	古墳住居 2	埋蔵文化財の調査 (Ⅴ)	
9 次	滝 1-4-4	1984.5.11 ~ 22	466	住宅建設	権現山遺跡 5 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (Ⅵ)	権現山遺跡へ変更
10 次	滝 1-3-17	1984.6.1 ~ 12	363	住宅建設	権現山遺跡 6 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (Ⅵ)	権現山遺跡へ変更
11 次	滝 1-4-2	1984.6.28 ~ 30	33	物置建設	権現山遺跡 7 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (Ⅶ)	権現山遺跡へ変更
12 次	滝 1-4-2	1984.12.22 ~ 24	94	住宅建設	なし	埋蔵文化財の調査 (Ⅶ)	
92 試 (1)	滝 1 - 2 - 14 の一部	(1992.7.6 ~ 8)	400	倉庫建設	なし	埋蔵文化財の調査 (15)	
93 試 (1)	滝 1 - 1 - 4	(1993.4.23 ~ 28)	313	共同住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (16)	
93 試 (2)	滝 2 - 2 - 7	(1993.8.25)	99	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (16)	
95 試 (1)	滝 1 - 3 - 13	(1995.11.27 ~ 30)	462	共同住宅	権現山遺跡 14 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (18)	
99 試 (1)	滝 1 - 1 - 6	(1999.10.21 ~ 26)	511	宅地造成 (土地分譲)	なし	埋蔵文化財の調査 (22)	
00 試 (1)	滝 2 - 5 - 20	(2001.1.23 ~ 24)	154	個人住宅	なし	埋蔵文化財の調査 (23)	
01 試 (1)	滝 2 - 2 - 8	(2001.4.17 ~ 20)	519	共同住宅	奈良平安時代住居跡 1	埋蔵文化財の調査 (24)	
02 試 (1)	滝 1 - 3 - 49	(2002.5.29 ~ 30)	165	個人住宅	権現山遺跡 17 地点に変更、欠番とする。	埋蔵文化財の調査 (25)	
05 試 (1)	滝 3 - 3 - 5・3 - 143	(2005.6.24 ~ 27)	350	個人住宅	なし	市内遺跡群 1	
立会	滝 1 - 4 - 1・26・27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	なし		
12	滝 2 - 5 - 3、5・4 の一部	2007.2.6	472	個人住宅	なし	市内遺跡群 3	
13	滝 2-2-6	2007.10.24 ~ 11.1	737	共同住宅	焼土範囲 2 箇所、ピット 8	市内遺跡群 4	
14	滝 2-5-11・17	(2007.11.8 ~ 19) 11.20 ~ 12.6	692	分譲住宅	住居跡 7 軒、溝 3 条、井戸 1 基、須恵器、土師器	市内遺跡群 4	
15	滝 3-3-84	(2009.9.2 ~ 14) 10.23 ~ 11.6	100	分譲住宅	8 世紀住居跡 1 軒、井戸 1、土坑 8、ピット 20、須恵器、土師器、紡錘車	市内遺跡群 7	
16	滝 3-145	(2009.12.2 ~ 14)	434	宅地造成	ピット 3	市内遺跡群 8	
17	滝 3-3-6、3-144	(2010.5.6 ~ 6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡 5 軒、井戸 1、土坑 4、溝 2、集石	市内遺跡群 10	
18	滝 2-6-4、6-6	(2011.6.6 ~ 13) 6.14 ~ 7.6	1164	個人住宅	縄文時代落とし穴 1、古墳時代住居跡 2 軒他、土師器、近世陶磁器等	未報告	
19	滝 3-4-2	(2011.10.17 ~ 24)	1277	分譲住宅	なし	未報告	
20	滝 1-8、1-9	(2012.5.9 ~ 11)	124	道路築造	住居跡 1 軒、時期不明井戸、土坑、ピット	市内遺跡群 12	
21	滝 1-1-7、1-26、1-31	(2012.5.11 ~ 21) 7.17 ~ 8.25	1176	共同住宅	奈良平安時代竪穴付住居跡 1 軒 (H31)・奈良平安時代住居跡 2 軒 (H32/H33)、掘立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ピット、須恵器、土師器、鍛冶関連遺物他	市内遺跡群 12	

※理：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺調：上福岡市遺跡調査会報告書、教要：上福岡市教育要覧、市内：ふじみ野市市内遺跡群報告書

第14表 滝遺跡古代住居跡一覧表 (単位 cm)

新 住居 番号	旧 調査 年度	調査名	調査率	平 面 形 () は推定	規 模 () は残存 又は推定値	炉	設置 壁・炉 位置	カマド・炉規模		周溝	主軸 方向	時期	備考	文献
						竈：K		長軸	幅					
1	1978	第 1 次 1 号住居	5/6	隅丸方形	640 × (580) × 40	炉	中央 西寄り	115	70	○	S-55-W	4 世紀前半	4 本主柱穴、方形貯蔵穴 110 × 95 × 40	埋蔵文化財の調査Ⅰ
2	1979	第 2 次 2 号住居	ほぼ完掘	正方形	(460) × 470 × 45	K	北	(100)	106	○	N-32-W	7 世紀前半	焼失住居、方形貯蔵穴 62 × 55 × 45	埋蔵文化財の調査Ⅱ
3	1978	丸 橋 第 1 次 3 号住居	2/3	正方形	(510 × 470) × 15	K	北東	210	102	○	N-38-W	7 世紀前半	焼失住居、(4 本主柱穴)	上福岡市遺跡調査報告書
6		第 2 次 3 号住居	完掘	方形	(480 × 460) × 15	—	—	—	—	○	—	9 世紀前半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
4	1979	第 2 次 4 号住居	ほぼ完掘	長方形	南北 340 × 東西 380 ~ 415 × 30	K	北	160	110	○	N-14-W	8 世紀前半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
5	1979	第 2 次 5 号住居	3/8	(正方形)	(490) × 610 × 60	—	—	—	—	○	不明	8 世紀前半	竈は調査区外未調査	埋蔵文化財の調査Ⅱ
—	1980	第 3 次 5 号住居	1/5	不明	(260 × 270) × 30	—	—	—	—	○	不明	4 世紀前半	権現山遺跡 1 号住居跡に変更	埋蔵文化財の調査Ⅲ
7	1980	第 6 次 7 号住居	1/3	正方形	620 × (250) × 12	K 2 基	A竈：北 B竈：西	115 × 90 122 × 90	90	○	N-52-E N-37-W	7 世紀前半	建て替わり、不整形貯蔵穴 175 × 95 × 20、床面焼土範囲有	埋蔵文化財の調査Ⅲ
8	2001	2001 年度範囲確認調査第 15 号住居跡	完掘	方形	400 × 400 ×	K	北	不明	不明	○	不明	(8 世紀前半)	今後 15 号住居跡から 8 号住居跡に名称変更	埋蔵文化財の調査 24
9	1983	第 8 次 9 号住居	2/3	隅丸方形	(500) × 470 × 20	炉 3	中央北 西寄り	60 × 40、(35) × 32、40 × 32	—	○	—	4 世紀前半	焼失住居、床面硬化範囲 2ヶ所	埋蔵文化財の調査Ⅵ
10	1983	第 8 次 10 号住居	完掘	正方形	690 × 660 × 15	K	北東	215	125	○	N-52-E	6 世紀前半	4 本主柱穴、方形貯蔵穴 (80) × 75 × 35	埋蔵文化財の調査Ⅶ
11	1984	第 10 次 11 号住居	完掘	隅丸方形	445 × (380) × 35	K	北	115	95	○	N-5-W	6 世紀前半	権現山遺跡に変更	埋蔵文化財の調査Ⅷ
12	1978	丸 橋 第 1 次 12 号住居	ほぼ完掘	隅丸長方形	980 × 770 × 20	土器 囲炉	北部	140	100	○	N-54-W N-36-E	4 世紀前半	床面焼土点	市史料編第 1 巻
13	2007	第 14 次 13 号住居	1/2	方形	370 × 370 × 45	K	東	90	65	○	N-36-E	8 世紀前半	貼床	市内遺跡群 4
14	2007	第 14 次 14 号住居	4/5	(長方形)	385 × (380) × 202	K	北	171	82	○	真北	8 世紀前半	比企型埴多数出土、貼床	市内遺跡群 4
15	2007	第 14 次 15 号住居	1/3	不明	(370 × -) × 20	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
16	2007	第 14 次 16 号住居	1/4	不明	(250 × 170) × 40	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
17	2007	第 14 次 17 号住居	1/3	不明	(344 × 360) × 102	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
18	2008	第 14 次 18 号住居	1/5	不明	(297 × 270) × 30	—	—	—	—	—	—	—	竈未検出、貼床	市内遺跡群 4
19	2008	第 14 次 19 号住居	1/5	不明	(450 × -) × 350	K	北	(85)	(82)	—	—	8 世紀前半~	14 号住居より新しい	市内遺跡群 4
20	2009	H20 号住居	2/3	隅丸長方形	370 × 350 × 398	—	—	—	—	—	—	8 世紀	—	市内遺跡群 7
21	2009	H21 号住居	一部	不明	285 × (135) ×	K	東	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 8
22	2009	H22 号住居	一部	不明	× ×	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 8
23	2010	H23 号住居	プラン	長方形	595 × 700 × 27	K	北	—	—	—	N-46-W	8 世紀	H 24、H 25 住居より新	市内遺跡群 10
24	2010	H24 号住居	プラン	(方形)	590 × (265) × 30	—	—	—	—	—	—	8 世紀	H 23、H 26 住居より古、H 25 住居より新	市内遺跡群 10
25	2010	H25 号住居	プラン	長方形	810 × 700 × 12	—	—	—	—	—	N-46-W	7 世紀	H 23、H 24 住居より古	市内遺跡群 10
26	2010	H26 号住居	プラン	(方形)	450 × (110) × 40	—	—	—	—	—	—	8 世紀	H 24 住居より新	市内遺跡群 10
27	2010	H27 号住居	プラン	方形	420 × 400 × 10	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群 10
28		欠番			× ×	—	—	—	—	—	—	—	—	
29		欠番			× ×	—	—	—	—	—	—	—	—	
30	2012	H30 号住居	4/5	方形	410 × 390 × 5	K	東	—	—	○	N-75-E	9 世紀	—	市内遺跡群 12
31	2012	H31A 号住居	完掘	方形	780 × 770 × 50	K	北・東	95	130	○	N-92-E	8 世紀前半	—	市内遺跡群 12
31	2012	H31B 号住居	完掘	方形	640 × 640 × 50	K	北	135	170	○	N-2-E	8 世紀前半	鍛冶炉	市内遺跡群 12
32	2012	H32 号住居	一部	(方形)	× × 25	—	—	—	—	—	—	—	保存のため未調査	市内遺跡群 12
33	2012	H33 号住居	一部	(方形)	× ×	—	北	—	—	—	N-0-E	—	保存のため未調査	市内遺跡群 12



第16図 滝遺跡遺構分布図 (1/2,000)

行った結果、古代の住居跡、近世以降の土坑、井戸、ピット等を確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

地表面から遺構確認面までの深さは約60cmであり、開発による遺跡への影響が避けられないため原因者と協議した結果、30cmの盛土保存を行うこととなった。

(2) 遺構と遺物

① H 23 号住居跡

【位置・形状】調査区の北部に位置する。H 24・H 25 号住居跡、掘立柱建物跡、溝 1 と重複し、両住居跡より新しく、掘立柱建物跡・溝 1 より古い。0.4 m 東に H 26 号住居跡、5.8 m 南東に H 27 号住居跡がある。

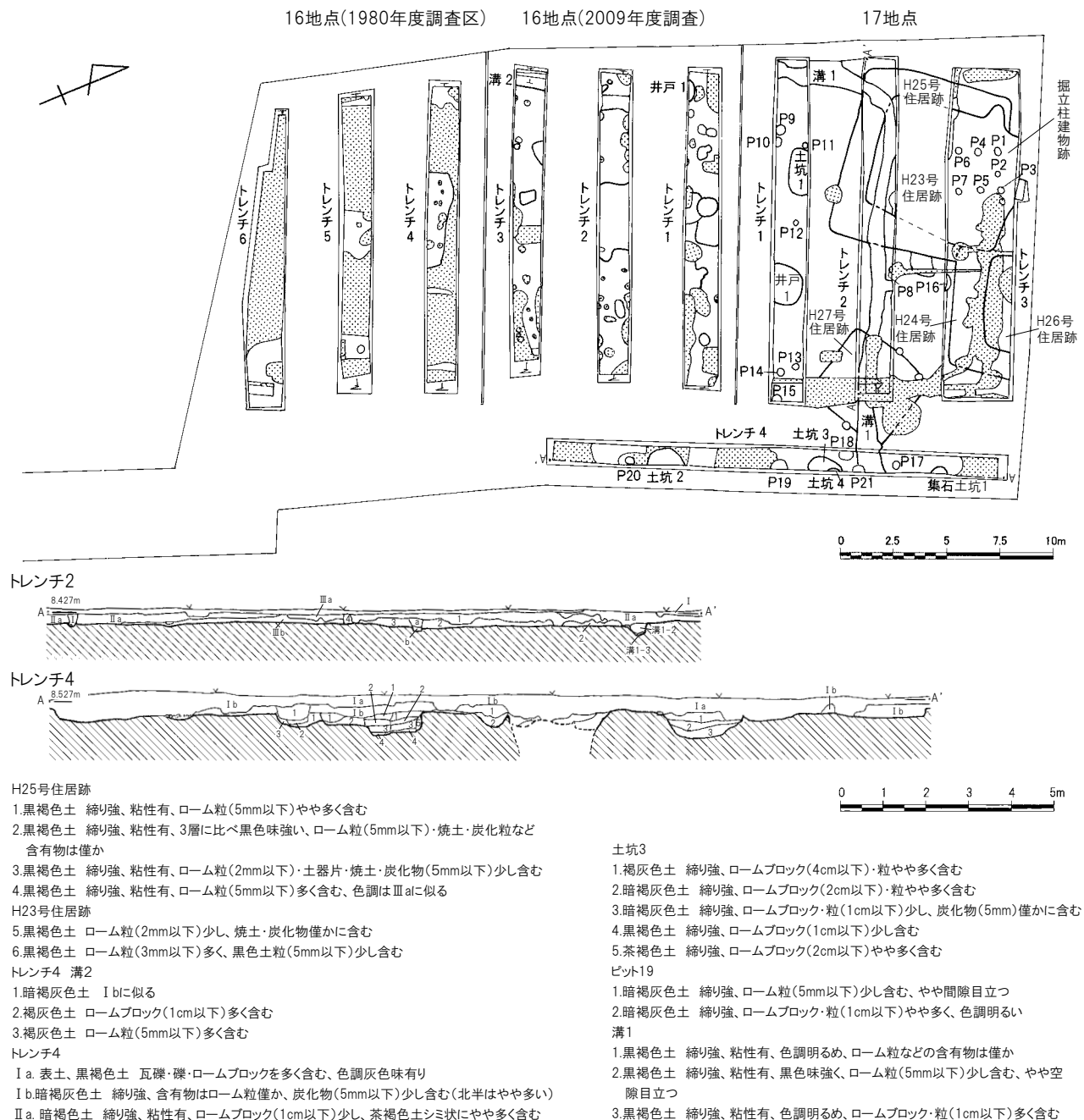
プラン確認と主軸方向及び主軸と直行する方向に幅 30 cm のサブトレレンチを設定し、確認調査を行った。平面形態は長方形で主軸方位は N - 46° - W である。規模は主軸が南北 5.95 m × 東西 7.0 m、確認面からの深さ 27 cm である。竈を含めた主軸長は 6.75 m である。

【竈】住居跡北西壁の中央やや北寄りに構築される。

【貼床・周溝】サブトレレンチにより周溝を確認した。周溝は住居の西・南壁際と東壁際跡の一部に巡り、上幅 20 cm、下幅 8 cm、深さ 11 cm である。

【時期】8 世紀。

② H 24 号住居跡



【位置・形状】調査区の北東部に位置する。北側は調査区域外である。H 23・H 25・H 26 号住居跡と重複し、H 23・H 26 号住居跡より古く、H 25 号住居跡より新しい。1.4 m 南に H 27 号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。サブトレンチは壁と平行に幅 30 cm で設定した。規模は東西 5.90 m で、南北方向には 2.65 m 検出した。確認面からの深さ 30 cm である。

【貼床・周溝】サブトレンチにより周溝を確認した。住居の西・南壁際と東壁際跡の一部に巡り、上幅 20 cm、下幅 8 cm、深さ 4 cm である。

【時期】8 世紀

③ H 25 号住居跡

【位置・形状】調査区の北部に位置する。H 23・H 24 号住居跡、掘立柱建物跡、溝 1 と重複し、全ての遺構のなかで一番古い。0.4 m 東に H 26 号住居跡、4.4 m 南東に H 27 号住居跡がある。プラン確認と主軸方向及び主軸と直行する方向に幅 30 cm のサブトレンチを設定し、確認調査を行った。平面形態は長方形で長軸方位は N - 46° - W である。規模は長軸が 8.1 m × 短軸 7.0 m、確認面からの深さ 12 cm である。

【時期】4 世紀。

④ H 26 号住居跡

【位置・形状】調査区の北東部に位置する。北側は調査区域外である。H 24 号住居跡と重複し、H 24 号住居跡より新しい。0.4 m 西に H 23・H 25 号住居跡、3.5 m 南に H 27 号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。サブトレンチは壁と平行に幅 30 cm で設定した。規模は東西 4.5 m で、南北方向には 1.1 m 検出した。確認面からの深さ 40 cm である。

【時期】8 世紀。

⑤ H 27 号住居跡

【位置・形状】調査区の南部に位置する。溝 1 と重複し、溝より古い。4.4 m 北西に H 23・H 25 号住居跡、3.5 m 北に H 24 号住居跡がある。プラン確認と、サブトレンチによる確認調査を行った。形態は正方形、規模は南北 4.0 m で、東西 4.2 m である。確認面からの深さ 10 cm である。

【時期】8 世紀。

⑥ 掘立柱建物跡

調査区の北部に位置する。H 23・H 24 号住居跡と重複し、両住居より新しい。トレンチ 3 内で 2 間

× 2 間を検出したが、南側へ範囲が広がるかどうかの確認はしていない。規模は東西 1.8 m × 南北 1.8 m、柱の芯間距離は 0.85 ~ 0.9 m である。

⑦ 井戸 1

調査区の西側、トレンチ 1 内に位置する。トレンチ内のみ調査し、表土から 1.9 m まで掘削したが、底面は未検出である。規模は上端幅 2.05 m、下端幅 1.12 m、漏斗状にすぼまる。

⑧ 土坑・ピット

土坑は 4 基、ピットは 21 基検出した。

⑨ 集石土坑 1

調査区の東部、トレンチ 4 内に位置する。時期不明。

⑩ 溝 1

調査区北西から東端にかけて位置する。H 23・H 25・H 27 号住居跡と重複し、新しい。北方向に 5.5 m の位置でほぼ直角に曲がり、東方向へ 17 m で調査区域外へ向かう。上幅 45 ~ 90 cm、下幅 15 ~ 25 cm、確認面からの深さ 30 ~ 40 cm、断面形は「U」字形を呈する。

23 号住居跡出土遺物

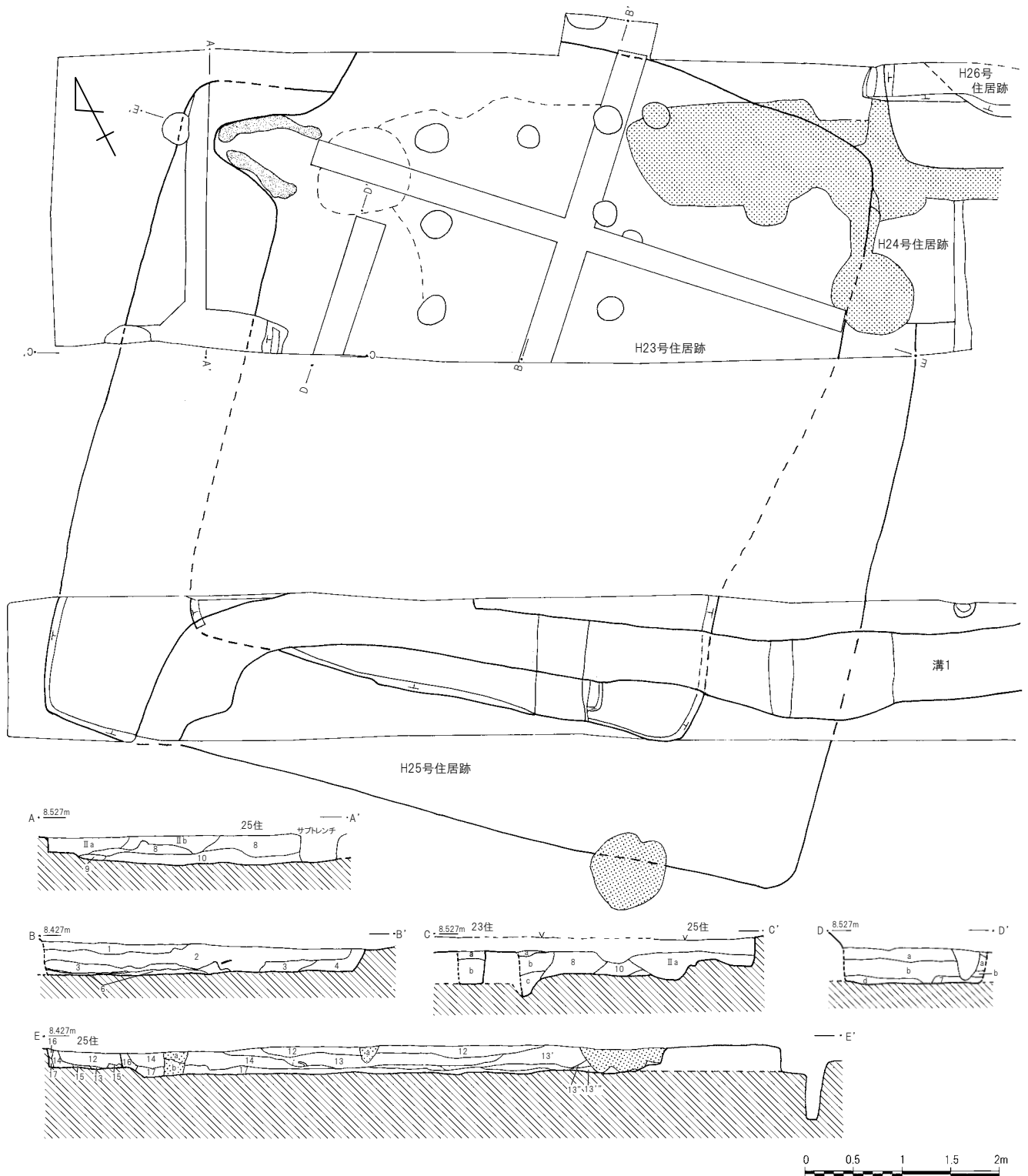
1 は口径 (1/4 現存) 15 cm、丸い体部から口縁部が垂直に立ち上がる。口唇部上端に沈線が巡る。色調茶褐色。体部外面はヘラ削りで底部を丸く整形。2 は、口縁部欠損、底部のみ。高台の付いた、いわゆる東海系の出尻の須恵器杯。高台は全周する。色調灰褐色で器面は滑らかに調整。

24 号住居跡出土遺物

1 は土師器長甕、口径 ((1/4 現存) 21 cm。色調茶褐色。口縁部は強い横ナデを施す。胴部は、縦ヘラ削りを丁寧に施している。

2 から 4 は土師器杯。2 は、口径 (1/4 現存) 14 cm、器高 3.5 cm。平底気味の丸底。内面に赤彩。口唇部下 3 mm の内面に沈線。体部上半を円形にヘラ削り。底部は一方向にヘラ削り。3 は丸底の杯、口径 (現存 1/4) 12 cm。口縁部と体部の境は、口縁部を細く垂直に立ち上げて区分している。4 は、口径 (1/4 現存) 12 cm。器高 3.8 cm。内面と外面口縁部に赤彩。口唇部を赤彩によって区分。口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。

5 は、口径 (現存 1/5) 21 cm。盤状の皿形土器。口唇部は体部と同じ器厚で平坦に整形されている。体部は強い横ナデ、底部はヘラ削り。胎土は細かく精錬され、地元産ではないようだ。



H23号・25号住居跡

II a. 暗褐色土 締り強、薄く斑状にロームブロック(2cm以下)多く含む、H23号住居跡のプランが上面に見られるが、近代・近世陶磁器を所々に含む

II b. 黒褐色土 締り強、ローム粒少し含む

1. 黒褐色土 締り強、ロームブロック・粒・焼土(1cm以下)少し含む
2. 黒褐色土 締り強、シミ状にロームブロック(5cm以下)をシミ状に、焼土(5mm以下)やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、シミ状にロームブロック・粒をシミ状に、焼土(1cm以下)少し含む
4. 黒褐色土 締り強、黒色味強、うすらシミ状にローム粒(3mm以下)少し、焼土(1cm大)やや多く含む
5. 黒褐色土 締り強、色調明るめ、ローム粒(2mm以下)少し含む
6. 黒褐色土 締り強、転圧を受けたようなローム粒(5mm以下)少し含む、締り非常に良い
7. 黒褐色土 締り強、bより色調明るめ、ローム粒(5mm以下)・炭化物少し含む
8. 黒褐色土 締り強、ローム粒(2mm以下)少し、炭化物(3mm以下)僅かに含む、黒色味強い
9. 黒褐色土 締り強、ローム粒(2mm以下)やや多く含む
10. 黒褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)多く含む

11. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)主体

12. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)やや多く含む

13. 黒褐色土 締りやや弱、ローム粒(3mm以下)やや多く含む

13'. 黒褐色土 灰色土粒(5mm内外)多く、ローム粒・焼土やや多く含む

13''. 黒褐色土 色調明るく、シルト質、含有物は少ない

13'''. 黒褐色土 灰色シルト質土を含み、色調明るめ、シミ状にローム粒・焼土(3mm以下)少し含む

14. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)少し含む、周溝覆土か

15. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)多く含む

16. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む

17. 暗褐色土 締り強、色調明るめ、うすら斑状にローム粒(3mm以下)やや多く含む

ピット

a. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

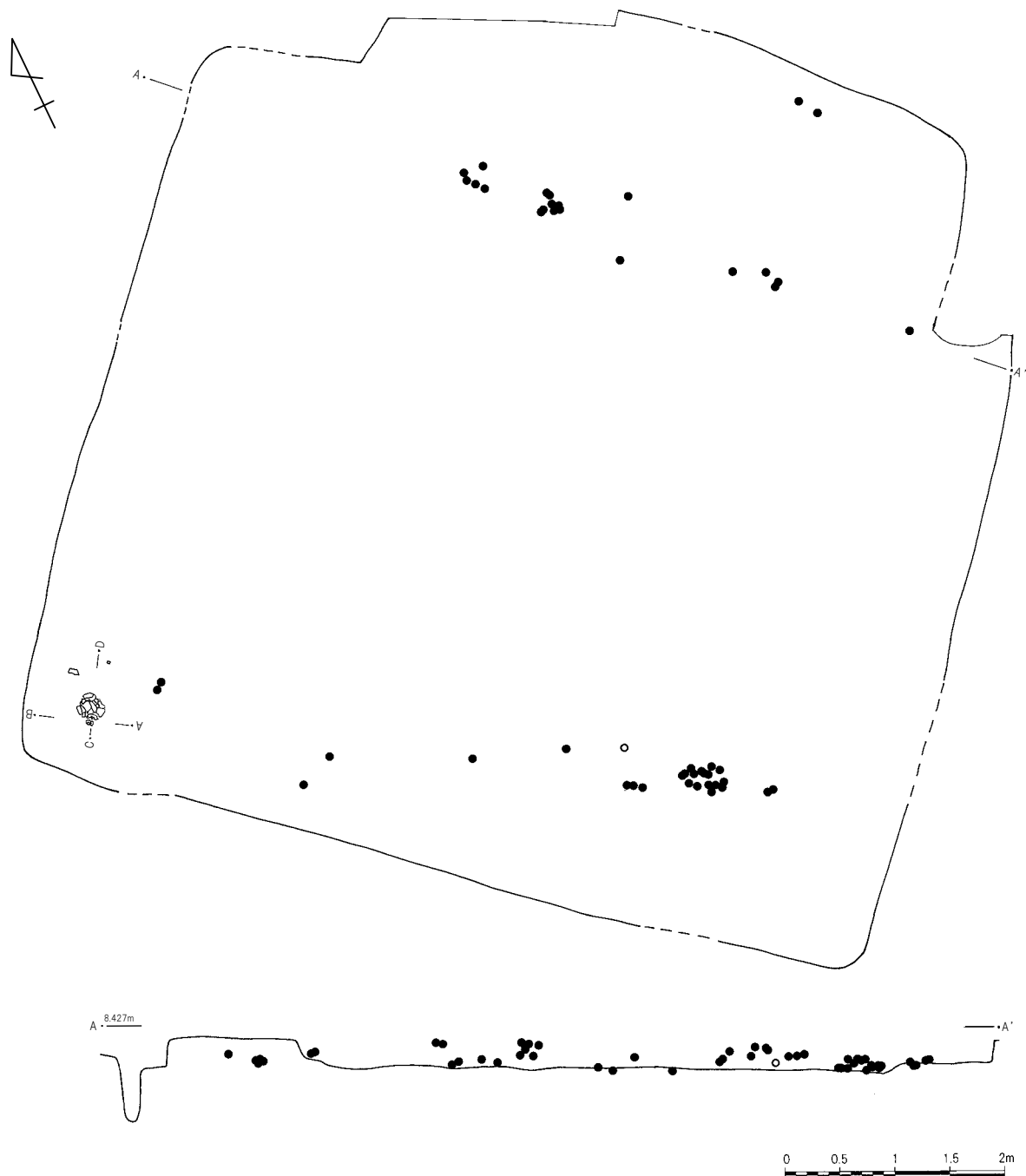
b. 暗褐色土 締り強、色調暗め、ロームブロック・粒(1cm以下)・焼土(5mm以下)少し含む

c. 暗褐色土 締り強、ローム粒僅か

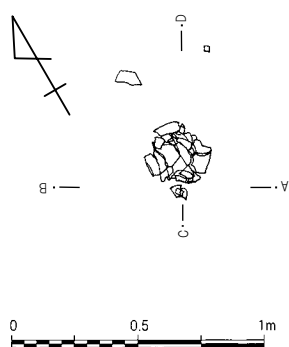
d. 攪乱 黒褐色土 若干灰色味が有り、含有物はローム粒・焼土(3mm以下)僅かのみ

第18図 滝遺跡第17地点 H23・H25号住居跡・掘立柱建物跡 (1/60)

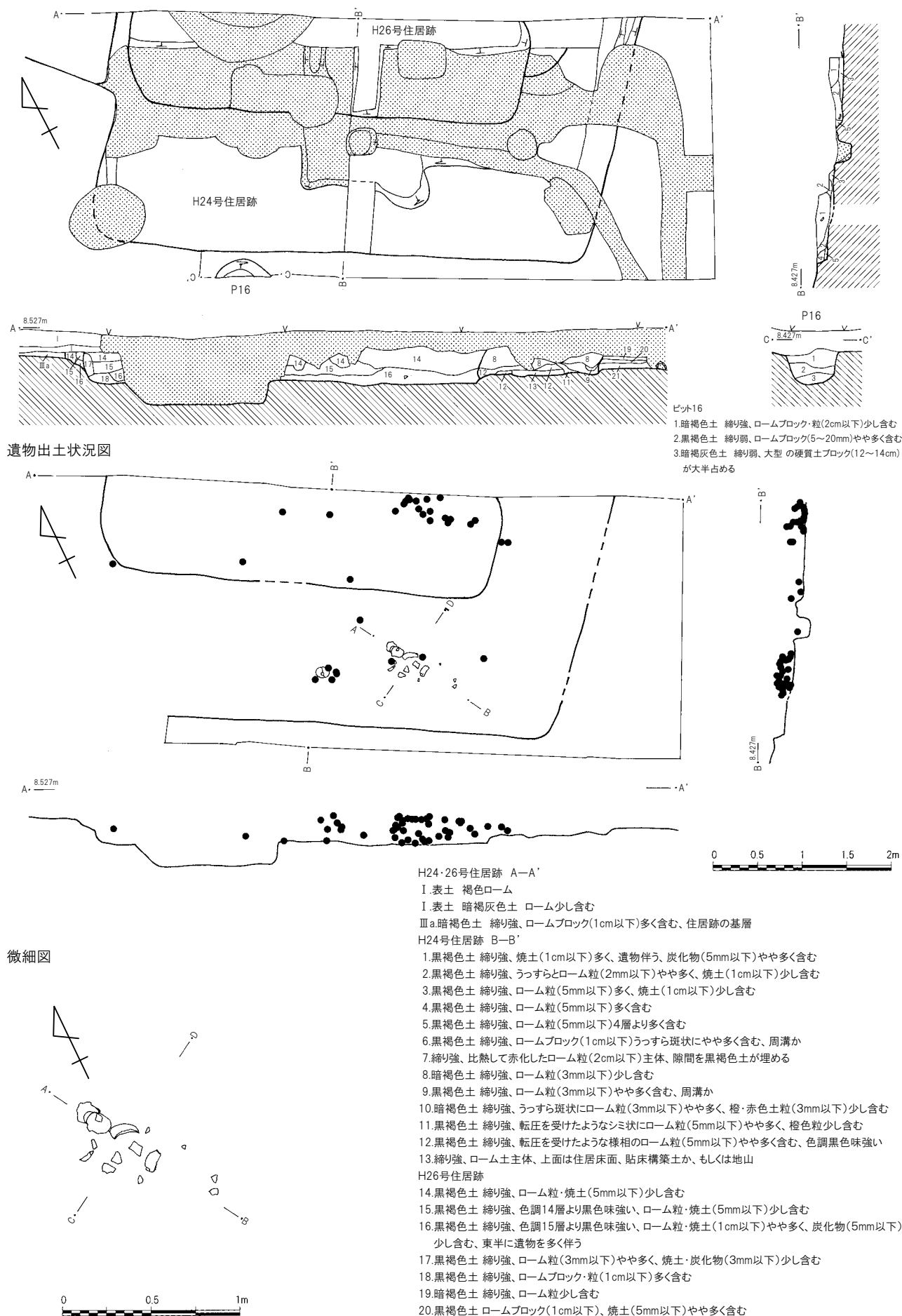
遺物出土状況図



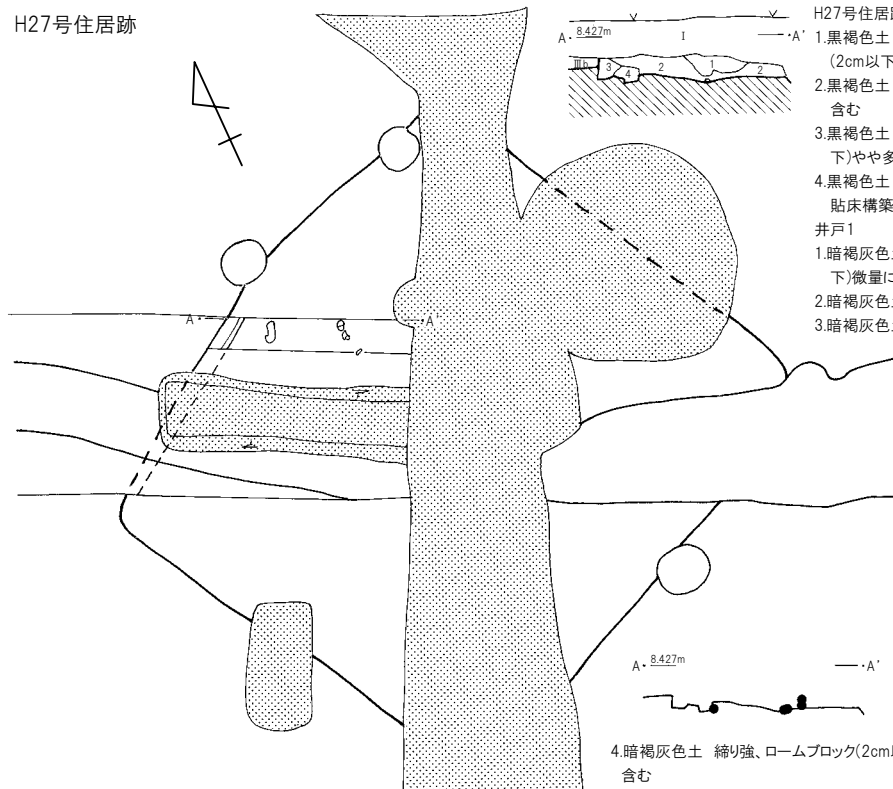
微細図



第19図 滝遺跡第17地点 H23・H25号住居跡遺物出土状況図 (1/60)、微細図 (1/30)



H27号住居跡

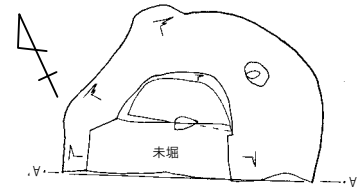


H27号住居跡

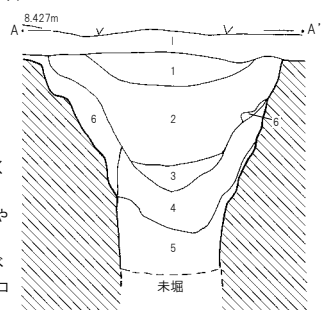
1. 黒褐色土 締り強、黒色味強い、ローム粒(2mm以下)やや多く、土器片(2cm以下)少し含む
2. 黒褐色土 締り強、ローム粒(3mm以下)多く、焼土(5mm以下)やや多く含む
3. 黒褐色土 締り強、ベースは黒色味強い、ロームブロック(5~15mm以下)やや多く含む、周溝覆土か
4. 黒褐色土 締り強、うっすら斑状にロームブロック(1cm以下)多く含む、貼床構築土か

井戸1

1. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し、焼土・炭化物(2mm以下)微量に含む
2. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(1cm)・粒(3mm以下)少し、炭化物(5mm以下)微量に含む



井戸1



4. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く含む
5. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む
6. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(3cm以下)、ベースの土にローム粒(3mm以下)多く含む、4層よりロームが多く、構築土(充填土)の可能性あり

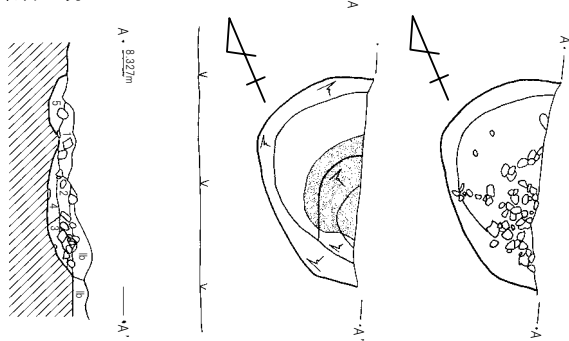
集石土坑

- I a. 表土、黒褐色土 瓦礫・ロームブロックを多く含む、色調灰色味有り
- I b. 暗褐色土 締り強、含有物はローム粒僅か、炭化物(5mm以下)少し含む(北半はやや多い)

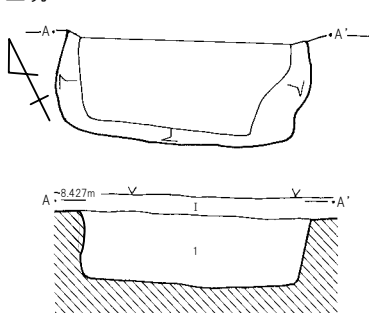
1. 暗褐色土 締り強、シミ状の赤褐色土少し含む
2. 暗褐色土 締り強、黄褐色ローム分を多く、焼土(3mm以下)・炭化物(5mm以下)やや多く含む
3. 暗黄褐色土 締り強、炭化物(3mm以下)少し含む
4. 暗褐色土 締り強、うっすらシミ状に黒色土・ローム土をやや多く、焼土(1mm以下)少し、炭化物(5mm以下)多く含む
5. 暗黄褐色土 締り強、上部は赤化している、ローム土を多く含む



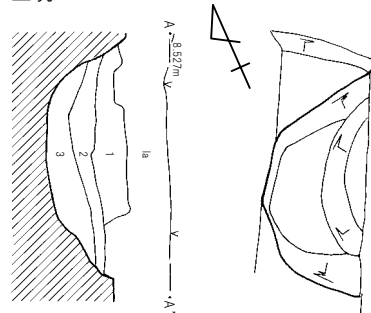
集石土坑



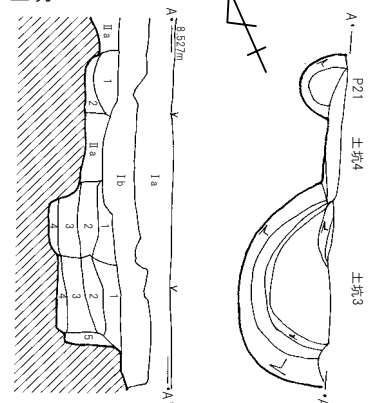
土坑1



土坑2



土坑3・4・P21



土坑1

- I. 褐灰色土 締りやや弱、ローム粒少～やや多く含む
1. 褐灰色土 締り強、酸化により表面が橙褐色化した黄白色ロームブロック(2cm以下)を多く、炭化物(5mm以下)少し含む、ベースの土はシルト質

土坑2

1. 褐灰色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、礫(3cm以下)少し含む
2. 茶褐色土、締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、褐灰色土(3cm以下)少し含む
3. 褐灰色土 締り強、ロームブロック・茶褐色土ブロック(2cm以下)多く、礫(2cm以下)少し含む

土坑3

1. 褐灰色土 締り強、ロームブロック(4cm以下)・粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)・粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)少し、炭化物(5mm)僅かに含む
4. 黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm以下)少し含む
5. 茶褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む

土坑4

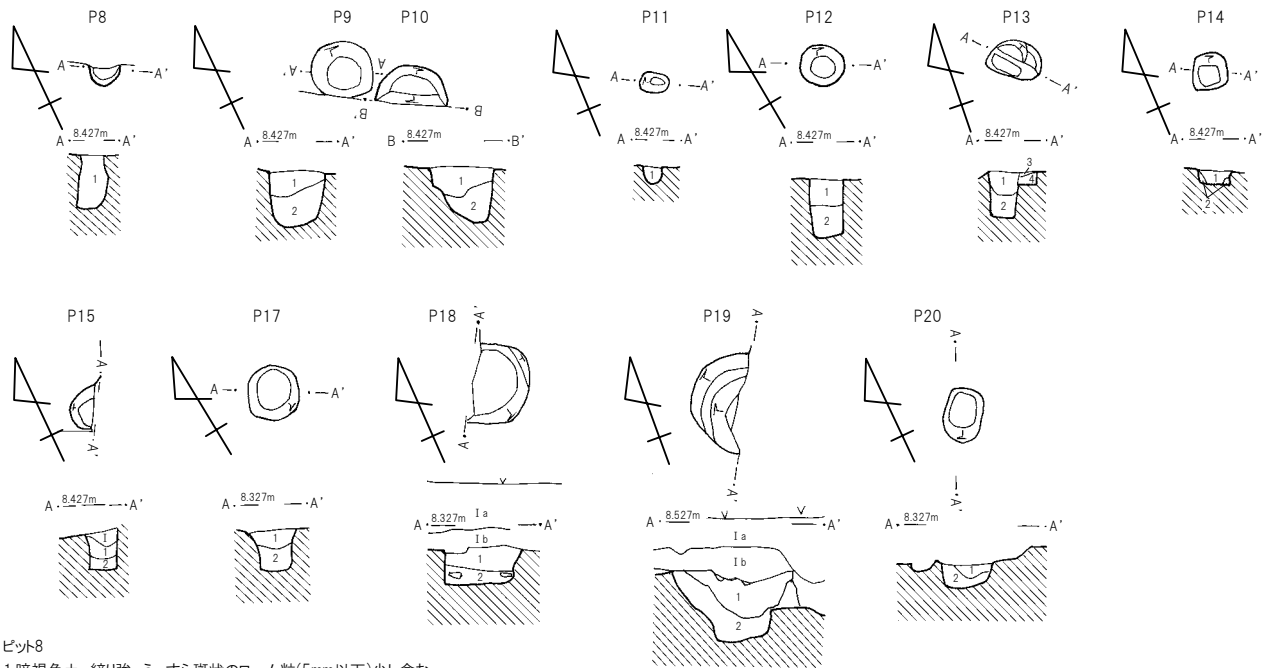
1. 暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(4cm以下)・茶褐色土ブロックを多く含む
3. 暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く、炭化物僅かに含む
4. 暗褐色土 締り強、シルト質の灰色土を多く、橙褐色土粒(5mm以下)少し含む

ピット21

1. 暗褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)多く、シミ状に茶褐色土ブロック少し含む
2. 暗褐色土 締り強、ローム粒・茶褐色土粒やや多く含む



第21図 滝遺跡第17地点 H27 号住居跡 (1/60)、集石土坑 (1/30)、井戸・土坑・ピット (1/60)



ピット8

1.暗褐色土 締り強、うっすら斑状のローム粒(5mm以下)少し含む

ピット9・11・12・14・15

1.黒褐色土 締り強、ロームブロック(1cm以下)多く含む

2.暗褐色土 締り強、うっすら斑状にロームブロック(1cm以下)多く含む

ピット10

1.黒褐色土 締り強、P9の1層に似る、ロームブロックは3cm以下と大きい

2.黒褐色土 締り強、ロームブロック(2cm以下)やや多く含む

ピット13

1.暗褐色土 締り強、ローム粒・焼土(もしくは土器細片)少し含む

2.暗褐色土 締り強、ローム粒少し含む

3.黒褐色土 締り強、ローム・焼土少し含む

4.暗黄褐色土 締り強、ローム土主体、シミ状に黒褐色土少し含む

ピット17

1.黒褐色土 締り強、ローム粒少し含む、灰色味有り、Iに似る

2.黒褐色土 締り強、色調は明るい、ややうっすら斑状にロームブロック(1cm以下)やや多く含む

ピット18

I a.表土、黒褐色土 瓦礫・礫・ロームブロックを多く含む、色調灰色味有り

I b.暗褐色土 締り強、含有物はローム粒僅か、炭化物(5mm以下)少し含む(北半はやや多い)

1.暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

2.暗褐色土 締り強、うっすらシミ状にロームブロック・粒(1cm以下)やや多く含む

ピット19

1.暗褐色土 締り強、ローム粒(5mm以下)少し含む、やや間隙目立つ

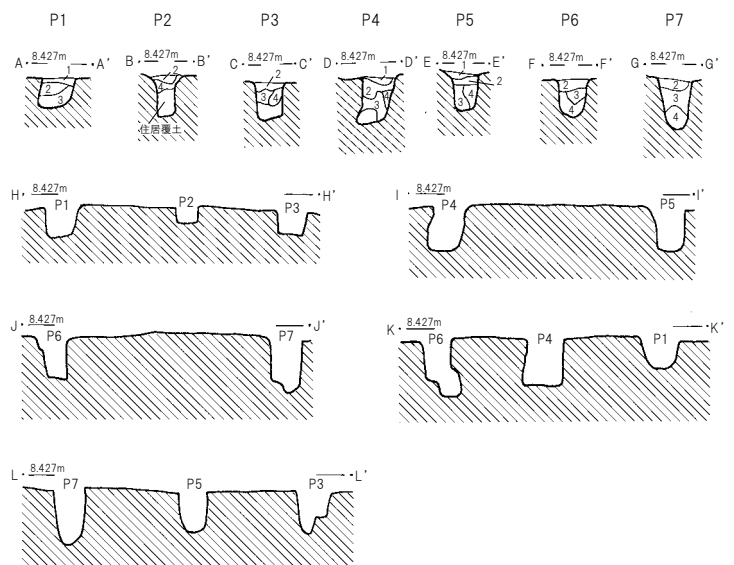
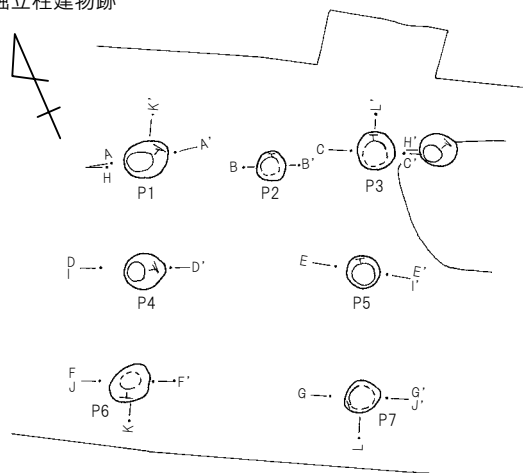
2.暗褐色土 締り強、ロームブロック・粒(1cm以下)やや多く、色調明るい

ピット20

1.黒褐色土 締り強、薄く斑状にロームブロック(2cm以下)多く含む

2.黒褐色土 締り強、薄く斑状にローム粒(5mm以下)やや多く含む

掘立柱建物跡



ピット1～7

1.黄褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土・ローム粒(2mm以下)やや多く、焼土・炭化物(2mm以下)少し含む

2.褐色土 締り強、粘性有、焼土(2mm以下)少し含む

3.黒褐色土 締りやや弱、粘性有、暗褐色土も含み、ブロック状でボソボソしている

4.黒褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に暗褐色土ブロックを含む



第22図 滝遺跡第17地点ピット・掘立柱建物跡(1/60)

第 15 表 滝遺跡第 17 地点井戸一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
井戸 1	不明	205 × (132)	80 × 34	173.1	

第 16 表 滝遺跡第 17 地点集石土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
集石土坑 1	不明	82 × (41)	30 × (8)	9.6	

第 18 表 滝遺跡第 17 地点 ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	方形	34 × 29	20 × 15	24.9	
P2	円形	23 × 23	16 × 15	15.5	
P3	円形	30 × 28	19 × 18	20.3	
P4	方形	30 × 29	17 × 14	39.2	
P5	円形	26 × 25	18 × 12	33.8	
P6	楕円形	34 × 27	18 × 13	32.7	
P7	方形	26 × 24	19 × 18	34.0	
P8	不明	24 × (14)	13 × (9)	27.1	
P9	円形	47 × 42	26 × 26	45.3	
P10	不明	56 × (30)	37 × 15	43.7	

第 17 表 滝遺跡第 17 地点土坑一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1	不明	199 × (82)	167 × (72)	50.2	
土坑 2	不明	178 × (80)	91 × (17)	42.9	
土坑 3	不明	163 × (71)	34 × (4)	59.0	

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P11	楕円形	24 × 15	11 × 5	15.0	
P12	円形	36 × 32	18 × 16	46.8	
P13	楕円形	40 × 29	22 × 10	36.3	
P14	方形	29 × 28	17 × 16	15.2	
P15	不明	36 × (19)	23 × (12)	24.6	
P16	不明	60 × (19)	35 × (9)	39.1	
P17	円形	45 × 40	33 × 27	32.5	
P18	不明	61 × (43)	52 × (34)	31.3	
P19	不明	80 × (37)	29 × (7)	71.2	
P20	方形	45 × 30	28 × 25	22.2	
P21	不明	51 × (28)	32 × (20)	20.2	

第 19 表 滝遺跡第 17 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

掲載 No.	出土遺構名	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	土坑 3	磁器 / 小坏	6.9	3.0	4.8	ロクロ成形 / クロム・黄色銅版絵付 / 竹雀文	瀬戸・美濃	1890 年代～
2		磁器 / 小坏	6.7	3.1	4.2	ロクロ成形 / コバルト染付 / 口縁外・高台脇に圈線	瀬戸・美濃	1870 年代～
3		磁器 / 小坏	7.0	3.4	4.3	ロクロ型打成形 / 銅版絵付・正円子 / 菊水文	瀬戸・美濃	1890 年代～
4		磁器 / 小坏	7.0	2.5	2.7	ロクロ成形 / コバルト染付 / 高台に櫛歯文 / 底裏に銘	瀬戸・美濃	1870 年代～
5		土製品 / 人形	2.8	2.4	1.4	型合わせ成形	在地	1790 ～ 1890 年代
1	遺構外	土器 (瓦質) / 養蚕火鉢底蓋	25.2	22.0	2.0	タタラ成形・受部貼付	在地	近代～
2		磁器 / 小坏	5.1	3.0	4.1	ロクロ成形 / 外クロム釉 / 黒・緑上絵花文 / 底裏赤上絵「九谷」銘	九谷	近代～
3		土製品 / 泥メンチ	2.6	2.1	0.7	型抜き成形 / 裏面に指頭圧痕	在地	1790 ～ 1890 年代

25 号住居跡出土遺物

いわゆる五領期のものである。1 は蓋形土器。つまみ部は完形。下部口縁部径（底径）20 cm。つまみ部先端から 2/3 は現存。下部口縁部内外面ともに横位にヘラ磨き。外面の中央部は斜めヘラ削り。工具の角が斜めの筋となる。内面口縁部（底径部）から上方へ約 2/3 は、横ヘラ磨きされ赤彩の範囲に重なる。その上方は斜めに下方にヘラナデ、つまみ状の狭い箇所は指頭による横ナデで整形。色調は黄褐色で、外面つまみ部を中心に黒斑が付く。外面は凹凸があって、丁寧な作りとはいえない。いわゆる北陸系の土器。

2 は、口径（1/8 現存）19.8 cm。「く」の字口縁の壺形土器。口唇部先端と「く」の字部に縦に 5 mm 間隔で刻み加えられている。内外面はハケ目調整。胎土に黄白色の小砂利が混じる。色調灰褐色。西日本系統の土器。3 は、胴部径 21.5 cm。底部径 6.3 cm。壺形

土器の胴下半部。胴下半部の輪積み接合面で割れている。同上部の接合以後に内面の横ハケを胴上半に付けたものの一部が付いたもの。底部内面の底は木口状工具で廻したもので、工具先端が放射状に付く。内面上部は木口状工具によりナデあげている。色調黄褐色で砂利が多量に混じる。

4 は、大形の埴形土器底部。底径 3.3 cm。底部はヘラで抉った後ナデにより整形。色調茶褐色。胎土は石英などが混じるがよく精錬されている。5 は、小形埴形土器の底部。底部は直径 2.3 cm 程度で平坦に整形されている。色調黄白色で粘板岩などの小砂利が混じる。6 は、壺形土器の底部破片。残存部少なく、詳細不明。

7・8 は、台付き甕の脚部破片。ともに風化が激しく器面調整などは観察できない。7 は非常に細かい白色の砂利を含む。色調暗灰色。S 字状口縁の台付き甕

の可能性が高い。8は外面は縦下手削り、内面は木口上工具により横へら削り調整。在地の台付き甕。

26号住居跡出土遺物

1は、土師器環。口径（1/5現存）10cm。器高3.0cm。底部は丸底。外面は全体にへら削りで調整。内面には工具の当てによる2条の沈線があるが全体にへ

ラナデ調整。色調暗褐色。

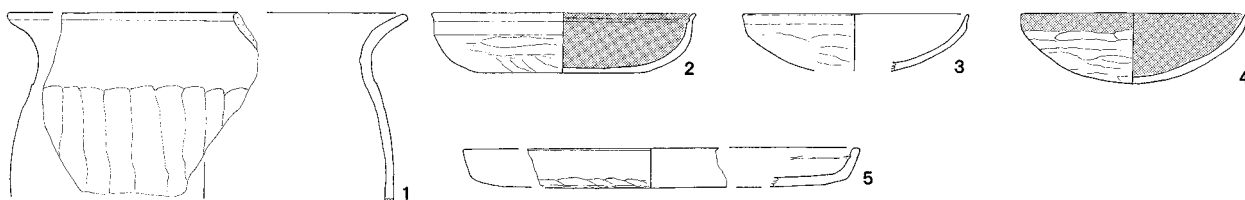
27号住居跡出土遺物

1は、土師器長甕。胴部径の1/5の現存。口縁部の内外面は強い横ナデ。胴部は縦へら削りにて調整。砂粒を多量に含み、雲母が少量混じる。色調黄白褐色。土抗3・遺構外（第19表参照）

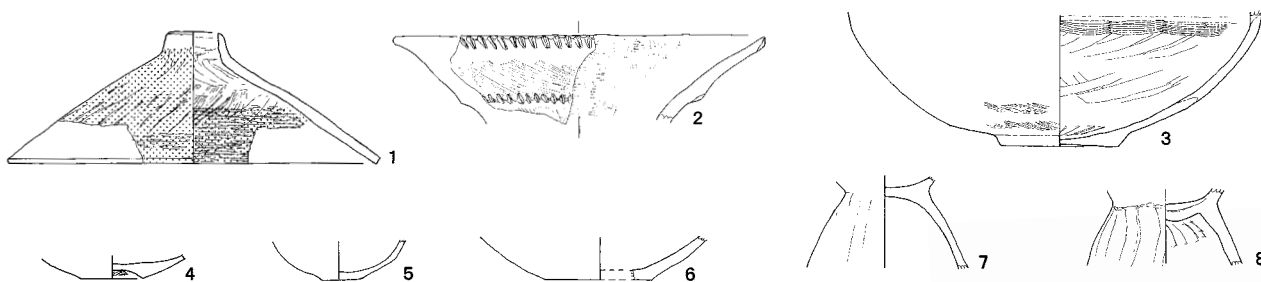
23号住居跡



24号住居跡



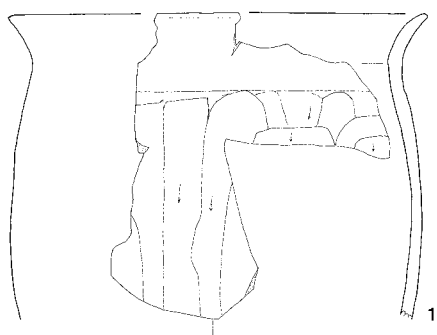
25号住居跡



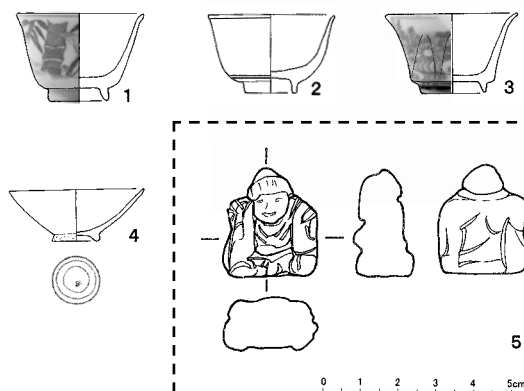
26号住居跡



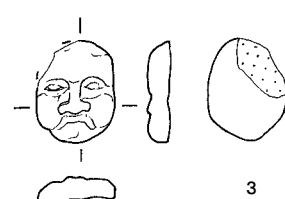
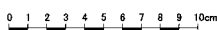
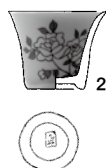
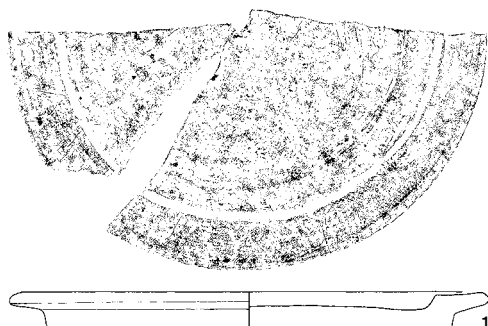
27号住居跡



土坑3



遺構外





滝遺跡第 17 地点全景



滝遺跡第 17 地点 H23・25 号住居跡全景 (東から)



滝遺跡第 17 地点 H23・25 号住居跡全景 (南から)



滝遺跡第 17 地点遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H25 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H26 号住居跡遺物出土状況



滝遺跡第 17 地点 H27 号住居跡全景



滝遺跡第 17 地点集石土坑 1



滝遺跡第 17 地点井戸 1



滝遺跡第 17 地点土坑 1



滝遺跡第 17 地点土坑 2・P20



滝遺跡第 17 地点土坑 3

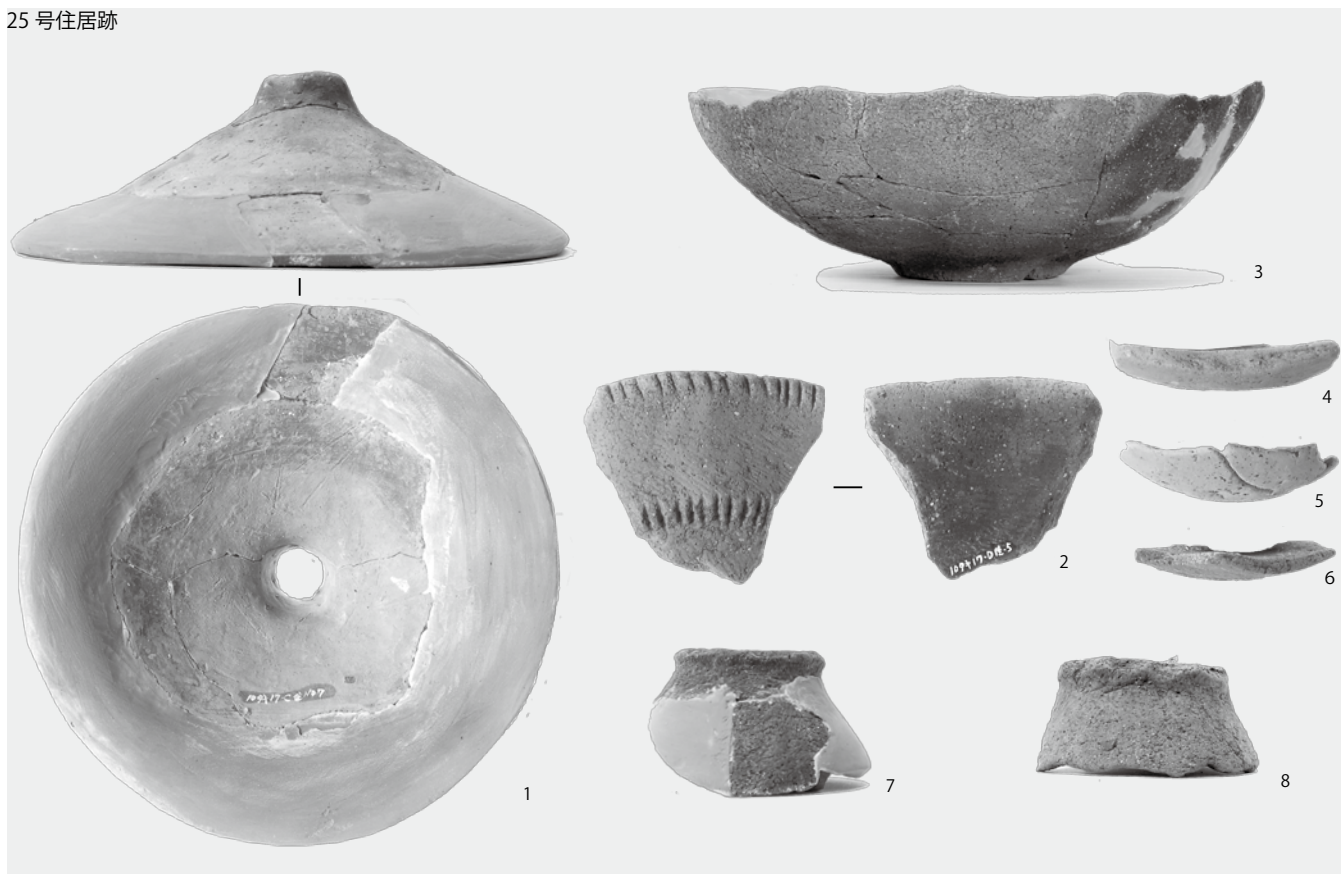


滝遺跡第 17 地点溝 1



滝遺跡第 17 地点出土遺物

25 号住居跡



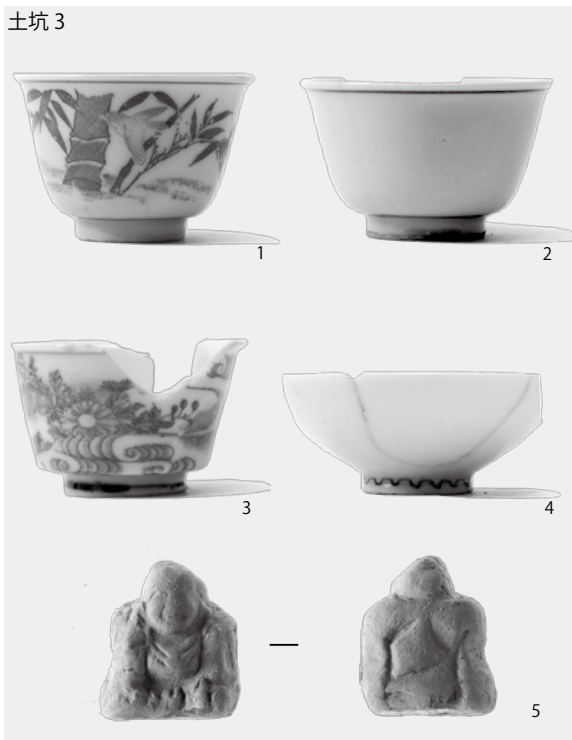
26 号住居跡



27 号住居跡



土坑 3



遺構外



滝遺跡第 17 地点出土遺物